

# たぐすい

ourhour フリースペース  
ア770ア77

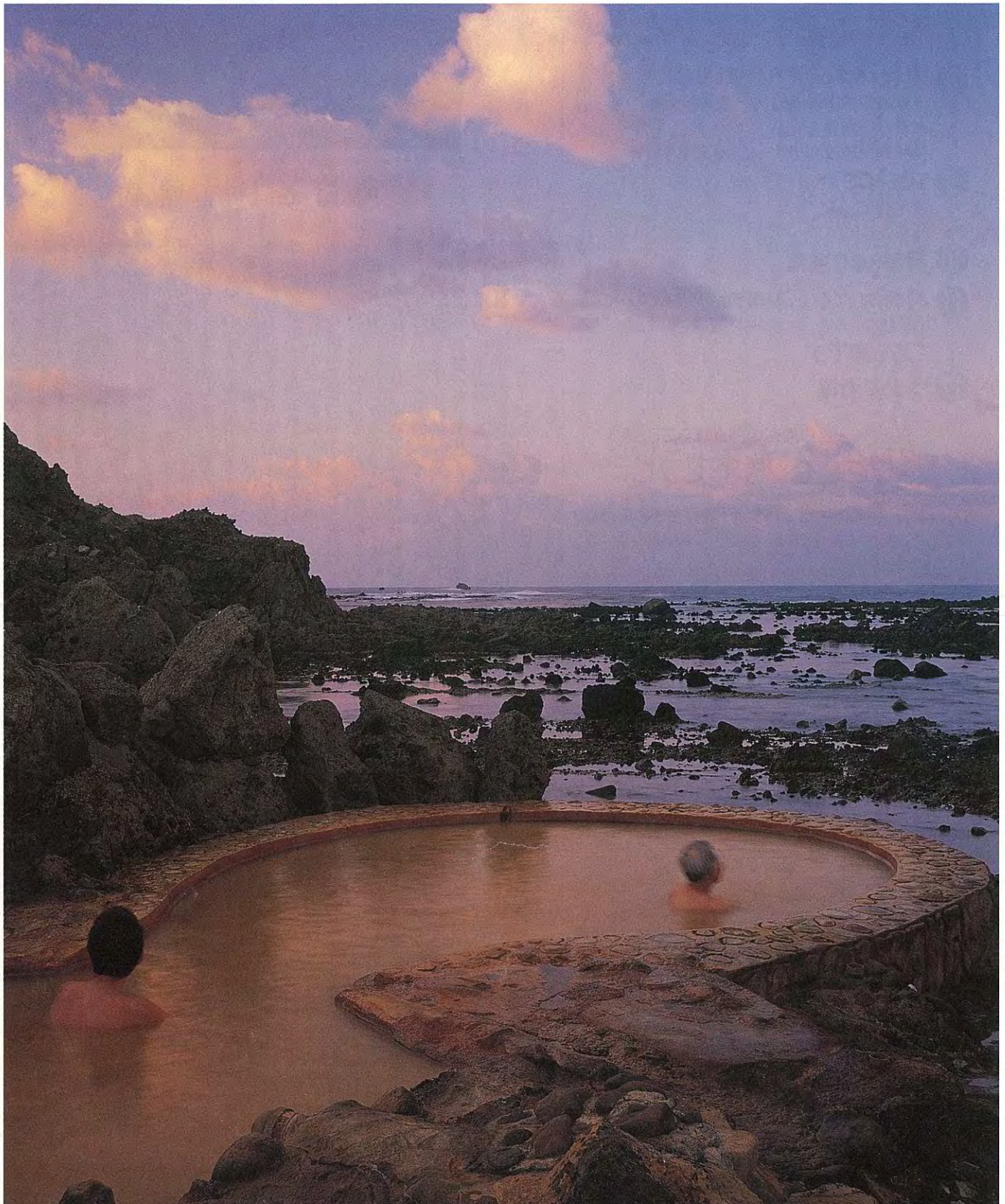
<兵庫県内海漁船保険組合>  
漁船保険組合の事業

ウチの漁場! JF由良

TAKUSUI  
12

2003年 December

No.566



# CONTENTS

- 2 旬に想う  
明治という時代  
ほっとするフォトセラピー  
手を伸ばせば日本海「波打ちぎわの温泉」
- 3 WTO情報  
水産物の価値認識の溝は深い
- 4 フリースペース our hour  
漁船保険組合の事業
- 6 NEWS  
淡路島1島1漁協に向け協議を開始!  
平成15年度水産功績者表彰受章  
小型船舶の号鐘・汽笛の基準が緩和されます
- 8 のうりんねんきんWELBOX  
平成15年度漁協運動功労者表彰受章  
農林年金関連会社が  
福利厚生施設利用サービス事業をスタート
- 9 TOPICS  
行事予定  
各地のおもなイベント情報
- 10 兵庫JCC通信
- 11 ホントに知ってる?こっそり覚えよう! 兵庫のさかな  
ハタハタ  
こちら海です
- 12 ウチの漁協

ヒロ旗谷のPHOTO ESSAY  
ほっとするフォトセラピー

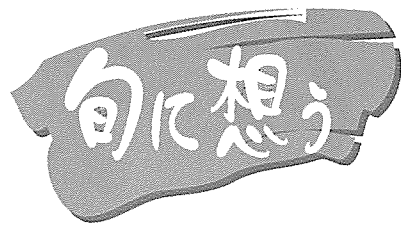
今月の表紙：手を伸ばせば日本海「波打ちぎわの温泉」  
(青森県・船作崎～黄金岬・不老不死温泉～にて)

1日の疲れ、いや1年の疲れをとってくれる特効薬は、温泉に浸る時ですね。日本人は風呂好きで、世界一清潔な民族ともいわれています。とりわけ、野趣あふれるここ西津軽・黄金岬突端の不老不死温泉の露天風呂は最高。朝日、夕日に照らされて変化する海の輝きと色。ほほをなでる爽やかな潮風。ひたひたと打ち寄せる潮騒の音。疲れた心と体を日本海に向って解き放つ…まさに至福の時です。

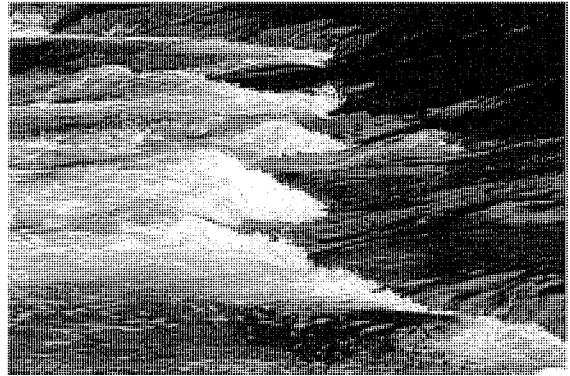
波打ちぎわに、ごく自然に設けられたひょうたん形の露天風呂には、すぐそばまで海が迫っており、冬は湯船に波が飛び込んで来る豪快さ。黄金岬という名のとおり、黄金色の食塩泉ですが、源泉自体は無色透明。空気につれて酸化し変色したものです。「不老不死」の名は、温泉を掘り当てた創始者が健康と長寿の願いを込めて命名したとの事。自然の恵みと共存する環境に感動しました。

兵庫県では、人と自然との共生を旗印に、ひょうごの代表的な自然産業である漁業の活性化と豊かな海づくりが進行中です。

年の瀬に 心いやすや 黄金の湯



写真と文 遊方子



## 明治という時代

◆ある人「人間は、四十歳までは『未来』を食って生き、それ以降は『過去』を齧って生きる」という。過去を齧るとはいい言葉だと思ふ。未来を食って生きて来、今は老いの坂を転がる齡となつて、歴史を溯ることに楽しみを見ている。流れを逆に辿り上流を目指し、過去を齧っているのである。今『明治という時代』に魅かれてゐる。歴史が動いたと感じさせる出来事に、心がときめくのである。幕末を経て、近代文明を取り入れるため躍起となつた時代、猪突猛進を思わせる勢いがあり、あらゆるものが激しく動いた。江戸城の主が、徳川家から皇室へ交替し、名前も皇居に変わる。江戸は東京(とうけい)と名を変え、新政府のもとに慌ただしく変貌してゆく。そんな時の流れに身を置いて、事象をゆつくりと顧みるのを、無上の楽しみとしてゐる。

◆り螢のひかり窓のゆき、書(ふみ)よむつき日かさねつ…。卒業式で歌う、この儀式歌が作られたのは明治時代だ。明治十四年発行『小学唱歌集初編』に、変体仮名で歌詞が掲載されている。明治維新という大きな変革の一つとして、西洋風を取り入れた学校制度が設けられ、新しく『音楽』という教科が加えられたが教師がいなかったため、「自分の間はこれを欠く」と放任される。明治十二年、アメリカ留学を終えた伊沢某が選ばれ、音楽取調掛になつた。そして、外国民謡に日本語の歌詞をつけ「螢の光」や「故郷の空」が生まれる。唱歌のなかの名曲として、今も多くの人々に愛唱されている。

◆新しい風が吹き始めたこの時代、それまでの肩肘張つたチヨン髷がサンギリ頭になつた。あらゆるものに洋式を取り

入れ、数多くの日本らしさが消去されていった。異国の事物や風俗は、計り知れぬ浸透力で人を魅了してやまず、生活様式そのものが根底から覆えされる。日本人に『舶来品』を有り難がる気風が根付いたのは、此の頃かのように思う。文章作法の上でも大混乱した時期である。小説家(泉鏡花)とジャーナリスト(徳富蘇峰)を比較すればよく判るが、蘇峰は日本語文、鏡花は長いセンテンスの口語文を使った。とても同じ日本語だとは思えないほど違つている。どちらが読み易いかと言へば、目に馴染んでいる後者だが、時には候文なども読みこなせたら嬉しいだろうとも思う。古来の文法が、怪しくなる兆しが見え始めるのも『明治という時代』である。

◆明治は歴史に残る名作文学の生まれた時代だ。江戸の末期、黄表紙や滑稽本、読本のたぐいが盛んに作られたが、木版による印刷は摩滅も酷く、そんなに沢山の部数が刷れない。明治四年鉛製活字が作られ、活版印刷が導入され、新聞・雑誌・書籍の印刷が盛んになる。福沢諭吉が『学問のすすめ』坪内逍遙が『当世書生気質』を書く。二葉亭四迷は、新しい日本語を目指して、言文致体で『浮雲』を著わした。今『口語文の創始者』と言われているが、恋も囁けば政治も語るといふ内容であつた。中期以降になると、多くの名作が名を連ねる。樋口二葉の『たけくらべ』明治二十一年に完成。三十八年には夏目漱石の『我輩は猫である』が登場。そして紅葉・藤村・独歩・鷗外らが活躍する。新しい文体を迎え、近代文学が大きく開花して行く。それが明治時代である。

# 水産物の価値認識の溝は深い

九月にメキシコカンクンで開催された

WTO閣僚会議は決裂したが、十二月までに一般理事会を開催し、WTO交渉の今後の進め方について議論されることになつており、カンクン閣僚会議での最終案（閣僚会議に提出されたジラール案は参考扱いとなり、関税撤廃分野に水産物は明記されず先送り）をもとに今後の議論が進められるとの見方が出てきている。

一方、二国間の関税撤廃等を行う自由貿易協定(FTA)は、メキシコなど各国との間で交渉が進められている。政府は去る十一月二十日、農林水産物貿易調査会を開き、FTA、WTOをめぐる状況を説明した。この中で農林水産省が、農業分野でメキシコのエスカレートする関税撤廃要求案に大幅な譲歩案を示し、さらに林・水産品ではメキシコ側の二百三十三品目の関税撤廃又は特別枠の設定等要求に対し、マグロ等を含む百七十五品目の関税撤廃については合意しているなど説明。これに対し出席議員から「日本の交渉は誠実すぎる。不当な要求には屈しないよう交渉に臨むべき」など政府姿勢を批判する声が相次いだとの報道

があった。

WTO交渉の決裂を受けてアジア太平洋経済協力会議(ASEAN)では、地域内の貿易自由化の実現をめざし、特定地域や二国間のFTA推進を宣言。日本も韓国とのFTA交渉は年内に開始し、二〇〇五年の実質合意をめざす方針で一致。また、対ASEANとのFTAでも二〇〇五年の交渉入りで一致している。

FTAが世界的な潮流となり、出遅れた感のある日本も、メキシコとのFTA締結交渉で年内合意を目指したが、豚肉やオレンジ果汁などをめぐるメキシコとの隔たりは、すぐに埋まりそうもない。十一月末に事務レベル協議を、としながらも、政府内では、すでにFTA締結を来年三月まで延ばす判断に傾いている。

物別れに終わったWTO、早期合意の意欲が薄れているメキシコとのFTAであるが、関税などの貿易障壁を撤廃する自由貿易の流れは変わらない。このように、世界的な貿易自由化の流れの中で、日本としては、競争力がある自動車や家電製品は関税引下げ案に乗りたいところだが、林・水産物を例外扱いたいため自

由化の流れに同調できない。いや、そもそも水産物が、自動車や家電製品等の純工業品と同一レベルで交渉は行われていることが大きな問題である。

水産物を純工業品と同様に、貿易商材にまで水産物貿易の自由化を

標榜する国々と、資源の持続的利用をめざし資源管理型漁業に取組む我が国とは、自由化の評価が大きく異なる。自主的な規制をつくり、資源を持続的に利用する漁業は、WTO関係国と比べ大いに誇れることである。しかし、WTO水産物交渉では、各国が国内漁業の事情から複数の対立軸をはさんで対立する構図となつている。

WTO交渉では、日本の主張に同調する国は多くない。水産物の輸出国は関税撤廃を支持し、もつと野心的であるべきと主張する。一律で急激な自由化となれば、漁獲量が適正水準を越えて資源の枯渇を招くことになり、とりわけ、影響を受けやすい小規模な漁業・漁村が将来に亘って維持発展していくことが困難となる。

我々は水産資源の持続的利用を大前

提とし、動物性タンパク食料の供給はもとより、漁村社会の維持、環境の保全など多面的な役割を漁業は担っていることを広く訴えていく必要がある。

中国から輸入された量表の部に、不正に栽培された「海賊版」のイグサが使用されているとの疑惑が高まり、DNA

鑑定の結果、この品種は高級品「ひのみどり」として熊本県が品種登録しているものと一致した。同県は中国に不正に苗が持ち出され、栽培されている可能性が高いとみている。知的財産保護の側面から改正された種苗法では、農産物の新品種を開発して国に登録した団体や個人が「育成権者」を持ち、第三者は勝手に栽培できない。これらの法改正を受け、農産物の海賊版もブランド品同様、税関での取り締まりが可能になった。「のり」についても同様の対策を講じるべきではないか、研究する必要がある。

(前号につづく。WTO対策検討チーム田中)

# 漁船保険組合の事業

## 漁船保険制度の 目的と事業

漁船保険組合は「漁船損害等補償法」を準拠法として、漁業者の所有し又は使用する漁船につき「不慮の事故」による損害の復旧及び適期における更新を容易にするとともに、漁船の運航に伴う不慮の費用の負担及び責任等の発生により、漁業経営が困難となることを防止し、もって漁業経営の安定に資することを目的として事業を行います。

主な事業としては、「漁船保険事業・漁船船主責任保険事業・漁船乗組船主保険事業」であります。

この他に、平成十一年十月に「漁船保険制度改正」が行われた際に、「任意保険事業（プレジャーボート責任保険）」を新たな事業種目に加え、現在、漁船保険事業の補完的事業として加入促進を行っているところであります。



## 漁船保険組合の 組員

組員たる資格を有する者は「漁船の所有者又は使用者」であつて、「漁船保険の保険料」を支払いたときは、その時から「漁船保険組合の組員」となります。

漁船保険組合は、これらの組員で構成された保険組織でありますので、一般にいうところの「相互保険組織」であるといえます。

また、組員としての権利義務については、「定款・約款」において左表の通り定められています。

組員	権利
組員	〔組員関係〕 総会（総代会）における議決権、総代の選挙権、役員・総代の被選挙権等
組員	〔保険関係〕 保険金請求権、保険料返還請求権等
組員	〔組員関係〕 追徴金支払義務等
組員	〔保険関係〕 保険料支払義務、損害防止軽減義務等



# 兵庫県内海漁船保険組合

## 漁船保険の特徴

### その1 保険料の国庫負担

漁協地区内の百トン未満の漁船が全船義務加入した場合、保険料の一部を国庫が負担。

### その2 非課税

事業に伴う印紙税、所得税、県民税、事業税等あらゆる税金は非課税。

### その3 事務費の国庫補助

国庫は保険組合の事務費の一部と、漁協に支払う事務費交付金の一部を補助しています。

### その4 漁船保険組合は、相互保険組織

保険組合は保険会社と異なり、漁業者によって構成される相互保険組織。営利を目的とせず、組合員が総会や総代会に出席して議決権を行使する等、業務執行に参画することが出来る。

### その5 国が保険機構に参画している

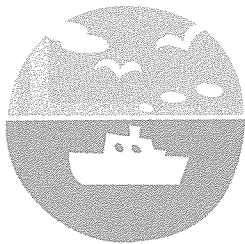
漁船保険中央会が、普通損害保険、船主責任保険の九割につき再保険責任を行い、国が更に再々保険者として全面的にバックアップ。

### その6 料率は三年毎に見直し致します

保険料率は、過去の実績に基づき、科学的合理的に算定されており、収支均等を原則として三年に一回改正されています。

### その7 剰余金は無事戻金として漁業者に還元

剰余金の一部を積立し、一定期間無事故であった漁船を対象として、無事戻金を払戻して漁業者に還元。



## 漁船保険の種類

### 普通損害保険

沈没、座礁、火災などの事故によって漁船の船体、機関、設備などに生じた損害や、漁船を救助するために要した費用などに対して保険金をお支払いする保険です。

### 満期保険

普通損害保険と全く同様に保険金をお支払するとともに、満期を迎えたときに保険加入時の保険金額を満期保険金としてお支払する積立保険です。

### 漁船船主責任保険

漁船が衝突した場合の相手船に対する損害賠償責任や、漁船の運航に伴って発生した第三者に対する責任や費用に対して保険金をお支払いする保険です。

### 漁船乗組船主保険

漁船の乗組船主(船主であり同時に乗組員である者)が、漁船上において不慮の事故によって死亡したり行方不明となった場合又は後遺障害となった場合に一定金額の保険金をお支払する保険です。

### プレジャーボート責任保険

5トン未満のプレジャーボートのための賠償責任保険です。プレジャーボートの運航に伴って生じた賠償責任や、救助費用などに対して保険金をお支払いする保険です。

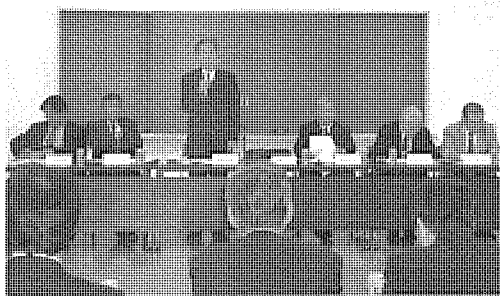
## 淡路島1島1漁協に向け協議を開始!

### ～「26人衆会」淡路組合長会議開催～

去る11月10日淡路水産センターにおいて、(社)淡路水交会主催による「26人衆会」が行われた。漁協の最高経営責任者である組合長が、漁業・漁協経営の現状把握と淡路島1島1漁協構想も視野に入れた組織強化のあり方を協議し、漁業経営の安定に資することを目的として、今回初めて開催された。

当日は島内26漁協組合長をはじめ、淡路漁青連・漁婦連会長、淡路県民局地域振興部長、JF兵庫漁連会長、JF兵庫信漁連会長、JFぎょさい兵庫組合長、内海漁船保険組合長ほか県及び団体から多数が出席した。

会議では、松原淡路水交会副会長による開会宣言で幕を開け、丸一淡路水交会長が、「この会の主旨は、漁協合併について一度浜談義をしてみようということであり、忌憚のない意見をいただきたい。三つの言葉、①「杞憂」しなくてもよい。②「株(くいぜ)を守るではない。③「指南」:漁民の幸福の道を示す。・・・26人の組合長が漁民の幸福を指し示す会としたい。」と主催者挨拶のあと、小西淡路県民局地域振興部長より来賓挨拶が行われ、同部長の座長により会議が進められた。



意見発表では、まず始めにJF炬口、JF一宮町、JF福良の3組合長より、各組合の組織強化の取り組みについて報告がなされ、続いて後継者等の立場から、片山淡路漁青連・森漁婦連両会長より、それぞれ「青年部も改革の時期にきている。淡路1漁協の協議が推進するよう青年部としても協力したい。」「植樹活動、海浜清掃等様々な活動を通じて婦人部としても漁業を守っていきたい。また、今や男女共同参画時代であり、女性の組合員加入が促進されるように希望する。」と発表があった。その後、出席の全組合長より事前に質問された今後の漁協運営や漁協合併に対する思いが述べられた。

また、JFグループひょうご企画調整室より、島内26漁協の現状について報告があり、大西JF兵庫漁連会長、吉野JF兵庫信漁連会長、吉岡JFぎょさい兵庫組合長、小松内海漁船保険組合長からもそれぞれ感想が述べられた。



全体的には、組合長としてまだ組織強化の緊急性について認識・理解にかなり温度差が見受けられたが、将来的には漁協合併が必要であるとの認識は一致していた。質問事項であった「淡路島1島1漁協」については、総じて賛成ではあるが、まずは段階的に市町単位等の地区合併から始める方がよいとの意見が多く、また、「県2漁協構想」については、時期尚早との意見が大半を占める結果となった。

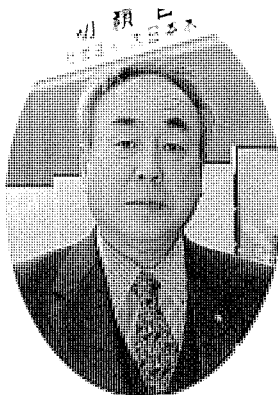
小西部長の総括では、「漁協合併については、総論賛成、ただ各論になるとそれぞれ個々の思いが出る。漁業協同組合としての本質を十分に理解し、事業体としての必要性を再度認識する必要がある。」と述べられた後、今後も1島1漁協に向けた調査・研究を行っていくことについて出席者に確認をとり、満場一致により意志が統一された。最後に前田淡路水交会副会長より閉会の挨拶があり、会議は終了した。

現在、日本海但馬地区においては、但馬1漁協合併に向け協議が進んでおり、これからの淡路島1島1漁協に向けての取組みが内海地区漁協の組織強化に繋がっていくことが期待される。

JFグループひょうご 企画調整室

全国底曳網漁業連合会副会長 吉岡 修一氏

## 15年度 水産功績者表彰受章



11月26日、東京・赤坂の石垣記念ホールにおいて15年度水産功績者表彰式が行われ、全国底曳網漁業連合会副会長吉岡修一氏が、長年にわたり水産業で目覚ましい活躍をされた指導力と努力を讃えられ表彰されました。桂宮宜仁親王殿下のご臨席のもと、表彰者代表として「私たちはそれぞれの職務を遂行してきたにすぎないが、功績者として選ばれ光栄で身が引き締まる。国際・国内的にも厳しい水産業にあって、世界の水産資源を持続的に利用し、夢のある水産

業を発展するためにも、この感激を契機として微力ながら力を尽くしたい」と述べられました。



吉岡修一氏

桂宮殿下

# 小型船舶の 号鐘・汽笛の基準が緩和されます

## News

海上衝突予防法の一部が改正され、平成15年11月29日から施行されました。  
(関係する「小型船舶安全規則」及び「小型漁船安全規則」も改正されました。)  
主な改正点は次のとおりです。

### (1) 号鐘の備付け基準が緩和されます。

小型船舶の号鐘の備付け基準

これまで 全長12メートル未満には、備え付けることを要しない。

これから

全長20メートル未満には、備え付けることを要しない。

### (2) 汽笛の小型化を可能とするよう技術基準が変更されます。

全長12m以上20m未満の船舶の汽笛

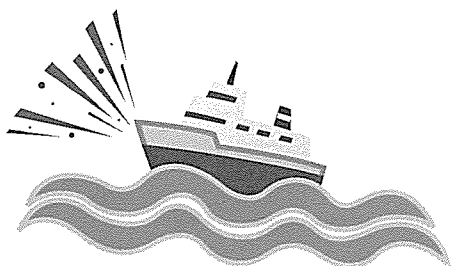
これまで 汽笛の基本周波数が250~700Hz、音圧が120dB以上であること

これから

汽笛の基本周波数が250~700Hz、音圧が次のいずれかを満足すること。

- 1 測定周波数180~450Hz  
音圧120dB以上
- 2 測定周波数450~800Hz  
音圧115dB以上
- 3 測定周波数800~2,000Hz  
音圧111dB以上

現存船に搭載されている汽笛は引き続きそのままご利用になれます。



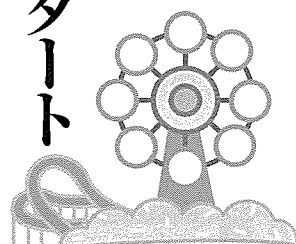
## JF兵庫漁連 専務理事 壽 進 氏 平成15年度漁協運動功労者表彰受章



11月21日東京・虎ノ門パストラルにおいて、「平成15年度（第18回）漁協運動功労者表彰」が行われ、本県からは、JF兵庫漁連 壽専務理事が受章されました。氏の永年にわたっての漁協運動の推進・発展への貢献が讃えられ表彰されました。表彰式、記念写真撮影に続き盛大に祝賀会が開かれました。



### 農林年金関連会社が 福利厚生施設利用サービス事業をスタート



JFグループにおいては組織と事業の改革が進んでいるが、その中において職員  
の福利厚生は効率化・合理化が求められる  
と同時に、一方で優秀な人材確保の観  
点から、魅力ある職場づくりでその充実  
が求められている。こうした状況下、農  
林年金の関連会社の(株)農林年金福利厚  
生サービスが本年七月から「福利厚生施  
設利用サービス(愛称↓のうりんねんき  
んウエルボックス)」の提供を始め話題になっ  
ている。

同サービスは、加入団体の職員とその  
家族が宿泊施設やレジャー、スポーツ、育  
児、介護などの様々なサービスメニューを  
割安に利用できるもので、団体の職員数  
に応じた会費制のため、少人数の団体で  
も比較的小さな負担でスケールメリット  
を享受できることが特徴。

サービスの提供を受けるには、まず  
JF(漁協)などが農林年金福利厚生サー  
ビスと契約(加入)を結び、当事業の運営  
会社である(株)イーウエル(東急不動産と  
豊通シスコムの出資会社)から提供され  
るガイドブック等のサービス情報に基づき、  
利用を希望する職員及び家族が直接同  
社に申込みを行ってサービスを受けるシ  
ステム。加入団体は五万円の登録手数料  
(初回のみ)と月会費として職員一人あた  
り七五〇円を負担する必要があるが、こ  
れらは福利厚生費としての計上が可能。  
個々の利用に当たっては利用者が定めら  
れた料金を支払う。

現在受けられるサービスは、宿泊施設  
が国内約三千カ所、海外約七千三百カ所  
国内のレジャー施設千七百カ所、スポーツ  
施設約千三百カ所のほか、育児・教育関

係百三十社、四千施設や介護関係七十  
社、健康・法律など無料の電話相談など  
この他に多数のメニューが用意されている。  
のうりんねんきんウエルボックスには、  
JAグループ、土地改良系統の加入が始  
まっており、JFグループでは、JF小笠  
原母島、JF平塚市が既に加入した。

詳しくは、  
農林年金企画部福利厚生担当、  
TEL03-3432-8104まで。







※行事予定 <変更になる場合があります>

### JF兵庫漁連

12月15日(月)	第2回のり入礼会
26日(金)	第3回のり入礼会
1月7日(水)	第4回のり入礼会
17日(土)	第5回のり入礼会
28日(水)	第6回のり入礼会

### JF兵庫信漁連

18日(木)	10:30~ 支店長会議 (水産会館)
26日(金)	理事会(予定)

※各団体 12月26日(金) 仕事納め  
1月5日(月) 仕事始め  
(JF兵庫信漁連 12月30日(火)  
仕事納め)

### JF共水連兵庫

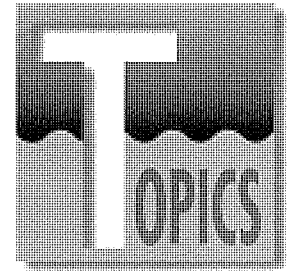
15日(月)	14:00~ JF共済推進専門委員会 (水産会館)
16日(火)	マネジメント改革プロジェクト会議 (東京)
17日(水)	東浦・西浦・南浦地区推進協議会 合同研修会(神戸)
18日(木)	摂津・東播地区推進協議会 研修会(有馬)

### 基金協会

12月11日(木)~12日(金)	全国研修会 (岐阜)
------------------	---------------

### 兵庫県

12月12日(金)	10:00~ 決算委員会
16日(火)	但馬海区漁調委 (但馬漁業センター)
22日(月)	10:30~ 常任委員会
25日(木)	13:30~ 瀬戸内海海区漁調委



### 系統団体

1月6日(火)	専務参事会 (水産会館)
---------	-----------------

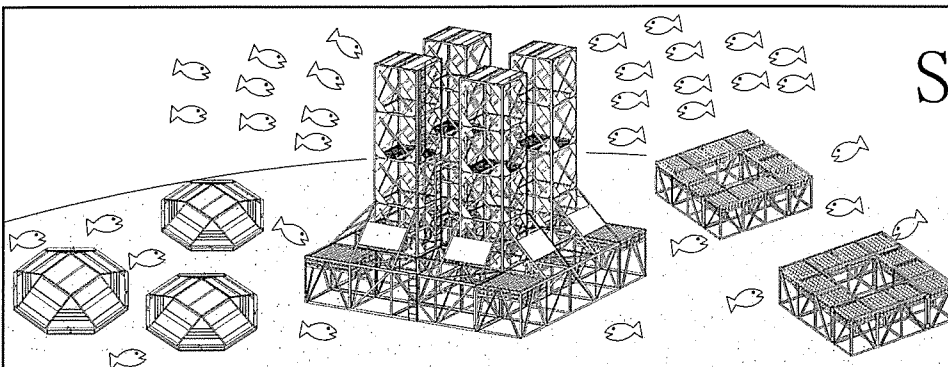
### その他

12月11日(木)	10:30~ 但州丸帰港式(神戸港)
18日(木)	13:30~ 但馬地区漁業協同組合 合併推進協議会 (JF香住町)
18日(木)	14:00~ 海の子作文審査会 (水産会館)



## 各地のおもなイベント情報

明石海峡大橋ライトアップスペシャル	12月12日(金)~25日(木) (赤と緑を基本にしたクリスマスカラー) 29日(月)~31日(水) (鮮やかなレッドパターン) 1月1日(祝)~3日(土) (年始パターン) ◆問い合わせ: 本州四国連絡橋公団 第一管理局 078-782-5400
神戸ルミナリエ	12月12日(金)~25日(木) ◆問い合わせ: 神戸ルミナリエ運営事務局 078-391-6371
平成15年度 ひょうご海の子絵画展示会	12月13日(土)~1月12日(月・祝) ◆場 所: 神戸市営地下鉄 ハーパーランド駅構内 ◆問い合わせ: JF兵庫漁連 指導部漁政課 078-652-3444
明石海峡大橋 2004年カウントダウンライトアップ	12月31日(水)~1月1日(祝) 予定(カウントダウンにあわせて特別点灯) ◆問い合わせ: 本州四国連絡橋公団 第一管理局 078-782-5400
第41回淡路農林水産祭	1月15日(木) ◆場 所: 伊弉諾神宮 ◆問い合わせ: 県洲本農林水産振興事務所 0799-22-3541



餌料培養機能付き魚礁を提供しています。

## SKSリーフ

◆ 神鋼建材工業(株)  
海洋製品グループ

〒660-0086

兵庫県尼崎市丸島町46番地

TEL: 06-6418-4336

FAX: 06-6418-2423

E-mail: kaiyo@shinkokenzai.co.jp

URL: <http://www.shinkokenzai.co.jp>

## 第23回JA全国大会開催 「安全、安心の農産物提供」と 「農と共生の世紀づくりへ」

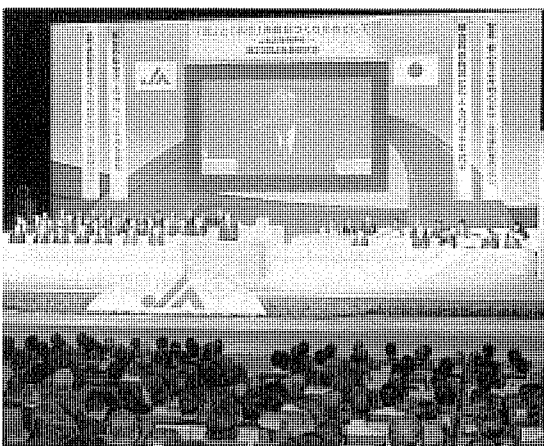
JAグループは10月10日、東京・渋谷のNHKホールで3,500人を集めJA全国大会を開きました。消費者に安全で安心できる農産物の提供や、JAグループ自らの「改革」をすすめることなどを内容とした大会議案が採択され、全国のJAで取り組むことを決定しました。

JA全国大会は、今後3年間のグループの目指す方向や、取り組む内容を決める場として3年に1回開催されます。今回は「農と共生の世紀づくり」を大きな目標に掲げ、JA全中が主催して、23回目の大会となりました。

大会議案に加え、“農産物貿易では各国の農業が共存できる公正なルールを設ける必要がある”などを内容とした「特別決議」が採択されました。

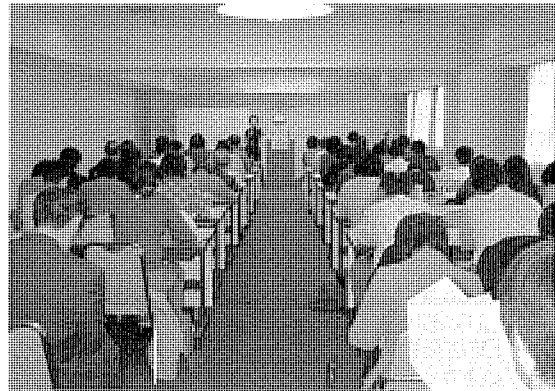
大会ではJAグループを代表する宮田勇JA全中会長が、食品の偽装表示や無登録農薬使用問題など、食と農に対する信頼を失う不祥事は極めて残念なこと、「命と健康を支える食の安全性と安心確保に向け、JAグループに責任ある対応が求められている」と、JAグループ全体で信頼回復に向け、全力をあげる決意を示しました。

今回は開かれた大会にすることを目的に、初めて公募による消費者200人が参加しました。大会議案や特別決議が採択された後、「農の価値、農の力」をテーマに、作家やJAの組合長、学者などによる記念フォーラムが開催されました。



<http://www.zenchu-ja.org/>

## 兵協連 「消費者問題基礎セミナー」を開催



11月5日(水)午後2時より兵庫県民会館にて、兵庫県生協連理事の伊藤潤子さん(コープこうべ理事・日生協理事)を講師に『消費者問題の現状と課題～消費者問題を基礎から学ぶ～』をテーマに消費者問題基礎セミナーを開催し、会員生協の役職員約60名が参加しました。

兵庫県生協連では、8月に第1回消費者問題推進委員会が発足。このセミナーは、消費者問題の取り組みを推進していくため、まずは、しっかりと学習を進めることが必要との理解から「消費者問題推進委員会」が中心となって開催したものです。

まず、はじめに兵庫県生協連・宮内明彌会長理事が、21世紀型消費者政策をめざす取り組みの足がかりとなるこのセミナーの開催挨拶をおこない、その後、兵庫県生協連・消費者問題推進委員会の委員長でもある伊藤潤子さんを講師に消費者問題についてお話いただきました。講演では、「なぜ今、生協で消費者保護基本法の改正を求める運動をすすめることになったのか」という背景から、消費者問題の推移と消費者政策の歴史、消費者問題に関わる法律の種類や内容について、また、消費者保護基本法の改正ポイントなどを基礎から分かりやすくお話されました。講演終了後の質疑・感想では、「団体訴権制度を担う消費者団体とはどういう団体なのか、また生協がそれを担うのか」という質問や、「非常にわかりやすく勉強になりました。今後も学習会があれば是非参加したい」という感想などもいただき、今後、すすめていく取り組みとして実りある学習会となりました。

<http://www.co-op.or.jp/jccu/>

# このちがいは海です

毎週日曜日 12:00~放映中

## 冬の但馬の観光大使 松葉がに

<兵庫県・城崎郡香住町>

12月14日(日)放送

今年も、秋の深まりとともに但馬に「松葉ガニ」のシーズンが来ました。

今年はどうな漁でしょうか…そして値段は…？

但馬に冬の観光シーズン到来を告げる11月6日を期して「松葉ガニ」が解禁となりました。

香住町柴山港では、一番船の帰港に合わせて恒例の「かに一番祭り」が開催されました。

お目当ての早々の観光客…店先にはカニ色一色。「松葉ガニ」の水揚げ兵庫県一を誇る香住町柴山港を中心に、活気付く港町の様子をお届けします。

※「かに一番祭り」とは

“かに解禁を祝う”祭りを香住町の民宿経営者や水産加工業者らでつくる「いちばんくらぶ」が開催するイベント。

11月6日解禁されたマツバガニ(ズワイガニ雄)漁。香住町沖浦の柴山港では、正午ごろから柴山港漁協所属の漁船十隻が続々と帰港。水揚げされたカニがずらりと並び、競に活気で満ちた。競り落とされたマツバガニの解禁を祝うイベント「かに一番祭り」には観光客が詰め掛け、但馬は冬の観光シーズンを迎えた。水揚げされたばかりですぐに料理されたマツバガニの焼きがに、みそ汁などが振る舞われ、観光客の長い行列ができた。短い時間で好評の内に完食された。日本一の松葉ガニ水揚げ量を誇る港は賑わい、カニのシーズンが始まった。

12月21日放送予定

「伝統の味 故郷の正月料理」(仮題)

<和歌山県那智勝浦町・串本町>

おたのしみだ!

## 編/集/後/記

カニのおいしい季節がやってまいりました。

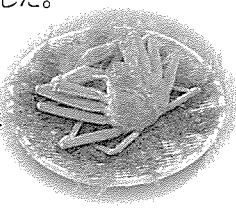
低カロリーで高タンパク質。

タウリンも豊富で、栄養的にも抜群!!

セコカニの外子・内子のプチプチ感と

深〜い味わいもたまらなく好きです。

今年も食べる気マンマンで〜す。



※平成15年もご愛読ありがとうございました。

16年もよろしく願っています。

皆様、どうぞよいお年を…。

## ポイントに知ってる? こっそり覚えよう! 兵庫のさかな



今月のさかな

## ハタハタ <標準和名：ハタハタ 分類：スズキ目ハタハタ科>

ハタハタといえば、秋田の魚だと思っていませんか? 確かに昭和五十年ぐらいまでは秋田音頭に歌われるほど県民になじみ深く、大量に獲れたようです。しかし、それ以降漁獲高が激減。今では北海道、鳥取県と並び、我が兵庫県の日本海側が国内の主要産地となっているのです。

尻びれが長く細長い体つきで、大きな胸びれと二つの背びれを持ちます。また、魚の特徴であるうろこがありません。腹は銀白色で、背には褐色の斑点が見られます。昼間は水深百五十〜四百メートルの海底で砂や泥の中に潜みます。この習性から英名では「サンドフィッシュ」と呼ばれています。夜になると活発に動き出し、小型甲殻類、小魚、イカ類などの獲込みを群で襲います。約2年で成熟し、体長は十五〜二十五センチぐらいになります。水温が十二〜十三度に下がる十二月頃産

卵期を迎え、海底から水深二〜十メートルの浅瀬まで何百万尾の大群で移動します。冬の訪れに轟く(とどろく)雷とともに押し寄せるため、雷神「霹靂神(はたはたかみ)」の使いと考えられ、魚へんに神または雷と書いて「ハタハタ」と名付けられたと言われます。また、「カミナリウオ」とも呼ばれます。

卵は直径一〜三ミリほどで、海藻などに産み付けられます。すべての卵は二度に産卵され、海中に放出された途端に約千粒ほどが付着し、重さ十〜五十グラムのゴルフボールぐらいの塊(かたまり)になります。卵膜が非常に固く、手では押しつぶせないほどです。また、雪の中に日おいても死なず、海岸に打ち上げられても発育を続けるなど、大変生命力が強いとか。受精後、五十日〜七十日経った二月の上旬頃から孵化を始めます。さて、この卵の塊は「ブリコ」と呼ばれます。

みそ汁や鍋物の他、生でも食べることができ、独特の菌触りが楽しめます。この味わいこそ、ハタハタのもう一つの楽しみ方といえるでしょう。ハタハタ自身は白身でさっぱりした肉質です。脂質には、脳の発育を助ける「DHA」と成人病予防に効果を発揮する「EPA」という高度不飽和脂肪酸が豊富に含まれています。口当たりが良い上に健康食品でもあるというわけです。身はなれがよく、うろこがないため、調理しやすく食べやすいことも魅力の一つ。塩焼き、田楽、鰯など様々な調理法で楽しめます。中でもハタハタを塩漬けにするのにじみ出てくる「塩魚汁(しよつる)」を調味料として、魚と野菜を入れて煮込む「しよつる鍋」は秋田の冬の味覚として有名です。まだ食べたことのない方、この冬は兵庫県の日本海でとれたハタハタでつくる「しよつる鍋」を是非一度お試しあれ。

# 由良ブランドの良質な魚

その秘密は

## 1本釣りにあり!

うちの  
漁協!

No.08

JF 由良



淡路島には日本でも有数の漁場が数多く存在します。中でも洲本市由良町で獲れる魚は身が引きしまり味も最高です。「由良の魚」といえば、昔からブランド品として扱われてきました。

その秘密を探ってみると、ひとつは鳴門、紀淡、明石など潮の流れ

の速い海峡に挟まれているため、身のしまったおいしい魚が豊富なこと。もうひとつはこの辺りの代表的な漁法「一本釣り」にあります。一本釣りの魚は他の漁法で獲られた魚と比べ、傷みが少ないのが特徴で、高級料亭などで重宝されます。これらが付加価値となり「由良の魚」というブランドを産み出したというわけです。

漁場は港を出て1キロぐらいの近海。朝は4時頃出漁し、昼の12時から始まる市場の時間に合わせ帰港します。市場では由良町漁業協同組合連合会による魚の入札が行われます。魚の種類により大札・中札・小札と3つのボックスが並びここに札を入れます。漁船が市場の岸壁にすらりと揃い、魚が次々と市場に集まってくる光景は圧巻です。

以前は一隻の船に3人が乗り込んで漁に出ていました。しかし、



船のエンジンと帆柱の性能が向上し、それぞれが人間1人分の動きを補うようになったため、現在では1人が夫婦2人で漁に出ています。



### <漁協メモ>

由良漁業協同組合  
代表理事組合長 沖之島 新司  
組合設立日：昭和24年9月10日  
組合員数：正組合員172名、准組合員7名/計179名  
漁獲数量：390トン

昔はタイ・スズキ・ハマチなどのいわゆる高級魚をはじめとする、豊富な種類の魚が獲れました。20~25年前には、10キロもある超特大のタイが獲れたこともあります。そのお値段、なんと当時で4万5千円。今となっては信じられない超破格値です。

しかし、養殖の魚が多く出回ってきたことから高級魚の単価は急激に下がっていきました。タイやスズキに至っては、約10分の1程度の値段まで落ち込んでしまったのです。このため、これらの魚はあまり獲られなくなってきました。

かつての高級魚に代わり、現在多く獲られているのがタチウオ・アジ・サバです。昔は「サバの生き腐り」という言葉もあるように、鮮度管理が大変であり魅力的とはいえない魚でした。しかし数が減った一方で、栄養価などの面から需要が増し、今や一気に高級魚として大変身してしまったのです。

由良では、タチウオを専門に一本釣りを行う船は40隻以上もあり、そのほとんどが夫婦で漁に出ています。タチウオ漁は引縄という漁法で行います。1本の竿の軸に50本程度の枝をつけ、そのひとつひとつに針をつけます。その重さは約10キロにもなります。そこに大きいもので1メートル50センチ、約2キロ、平均でも1メートルはあるタチウオが食いつき、さらに重さが増します。今はエンジンを利用して引き上げますが、昔は漁師たちがその重い竿を自力で引き上げていました。まさに体力勝負だったのです。



その漁師たちの平均年齢も今や60歳。若い人に漁業に携わってもらうため、投石や放流などにより魚を増やし漁業を安定させる活動も積極的に行われ、成果もあがっています。代々受け継がれてきた由良漁師の一本釣りの技。何とか次の世代へバトンを渡していきたいと願っています。



拓 12 December

JF 発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会  
(財)兵庫県水産振興基金

〒652-0844 神戸市兵庫区中之島2-2-1

TEL 078-652-3445 FAX 078-671-6685

URL <http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren/>